



## 2学期が始まりました

夏休みが終わり、いよいよ2学期がスタートしました。久しぶりに見る笑顔、一段とたくましくなった姿に、元気をもらいました。8名の転入生を迎え、子どもたちも嬉しそうな様子でした。今学期も学習発表会をはじめ遠足、国際交流など、たくさんの行事が予定されています。一つ一つが記憶に残る楽しいひとときとなるよう、子どもたちの無限の力を引き出していきたいと思います。

### ◇ 8・9月の学校行事 ◇

#### 8月

- 第2学期始業式・登校手段別集会
- リネウスホフ遠足(小1~3)
- スクールカウンセラー来校
- 中学部職場体験
- 学習参観日・夏休み作品展
- 進路説明会(中3)

#### 9月

- 児童朝会・バス避難訓練
- クラブ④
- 中学部定期考査③
- スクールカウンセラー来校
- 豚汁給食(小2)
- PTA 執行委員会③
- 委員会⑤
- お話の森④
- 同志社国際中等部高等部説明会
- 立教英国説明会
- スクールカウンセラー来校
- チャイルドシアター
- 学習発表会
- 振替休業日

### 始業式での校長先生のお話

31日間の夏休みが終わりました。みなさんはどのような夏休みを過ごしましたか。1学期の最後にお話ししましたが、夏休みは時間がとれるので、普段できないことに挑戦してみてほしいということをお話したかと思います。

見ることと実際に経験することは全く違います。みなさんが教科書や本で勉強したことは、頭の中に知識としてたまっていますが、それらが有機的につながってはいません。ぽつん、ぽつんと頭の中にたまっているのです。みなさん、テスト前に一夜漬けで暗記したことは、意外と早く忘れてしまうと思いませんか。それは、経験と合わさっていないからです。経験することで、それらはつながっていきます。経験することは、知識より100倍素晴らしいと言っている人もいます。

みなさんは、この夏休みにいろいろな国を旅行してきた人もいたのではないのでしょうか。他のヨーロッパの国々へ行くと、山が多くて、改めてオランダという国は、平坦な国なんだなということや、オランダ人が海を埋め立ててつくってきたということが実感できます。このようなことが、記憶の定着につながっていきます。

もちろん、すべてを実体験することはできません。でも、できるだけ体験していくことを重視していくことで、知識は本物になっていくと思います。校長先生の苦手な英語の話でいうと、いつも車の中で英会話を流していますが、なかなか覚えることはできません。でも、この夏は、一生懸命、外国の人たちに話しかけてみました。荷物を預かってほしいとか、このレストランのおすすめは何ですかとか、自分で考えて話をしてみるのですが、初めはなかなか理解してもらえませんでした。でも、話す前に自分で英作文を試みて、それを使ってはなしてみる。そうしたら、何とか通じた。そうしたら、こんな時は、こんな表現を使うのかということが、ただ本を読むだけよりしっかりと頭の中に残りました。体験すると暗記するよりもより深いところに記憶が刻まれます。

決して忘れない体験に裏付けられた記憶がたくさんあると、それらが結びついて新しいアイデアなどが生まれてきます。それがイノベーションとなっていくのです。有名なスティーブジョブスは、新しいアイデアなんてこの世の中に何一つないといっています。点と点になっている知識をつなぎ合わせるのがイノベーションだと言っています。そのつながりを容易にするのが経験だとも言っています。

みなさんは、これからの時代を担っています。様々な経験を通して、本物の知識を獲得し、これからの時代を生き抜いてほしいと思います。

